



ほ な み

穂 苙

第 15 号

令和 5 年 1 月 11 日発行

<http://toyoura.shibata.ed.jp>

有終の美と新たなステージへの準備

校長 伊藤 真哉

明けましておめでとうございます。保護者、地域の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと思います。学校でも、生徒の明るい挨拶が交わされ、元気に3学期のスターを切りました。3学期の始業式にあたり、生徒に次のような話をしました。

3学期は、短い学期ですが、1年間のまとめをし、次の年度の準備をする大切な学期です。3学期にそれぞれの学年で頑張ってもらいたいことについて話をします。

3年生は、高校受験を控えた大切な学期になります。「受験は団体戦」と言われることがあります。聞いたことがある人もいるかと思いますが、一人で受験に行くのに団体戦と聞いて不思議に思う人もいるかもしれません。「団体戦」という言葉は、学年・学級で、学習する雰囲気大切に、互いに教え合い、補い合い、支え合い、集団の力を結集して受験に臨むことが、一人一人が目標とする高校に合格することにつながるということを表した言葉です。

毎日の学習に向かう環境づくりを大切に、3年生の皆さんが、「団体戦」の気持ちで受験に向かい、それぞれの目標を達成してくれることを期待します。また、学校生活を大切に過ごし、「3年間いろいろなことがあったけれども、精一杯頑張った、悔いなくやり終えた」と思えるよう、一日一日を大切に過ごし、中学校生活をいい形で締めくくってください。

2年生は、3年生が安心して卒業していける環境づくりをお願いします。日常の生活態度や、専門委員会の活動、生徒総会や3年生への感謝のセレモニーなどの場面で、3年生から「豊中をまかせたぞ」と思ってもらえるよう、これまでよりも一段、高い意識をもって行動してください。



1年生は、4月に入学してくる新入生の手本となれるよう、学校生活の中での「当たり前度」を高めてください。具体的には「おはようございます」「こんにちわ」という元気な挨拶、時間を守る、一生懸命清掃をする、私語をせず授業に集中することなどです。こうした当たり前のことの積み重ねが、大きな成長への基盤になります。

3学期は、3年生は中学校生活の有終の美を飾り、1・2年生は新たなステージへの準備をするために、日々の生活を見直し、意識を高め、今できること、やるべきことを頑張っていきましょう。

三学期の目標！

3学期の始業式は、感染症対策のために放送で行いました。各学年の代表生徒が、「決意を新たにがんばります。」と3学期の目標を力強く発表してくれました。以下に紹介します。

私が三学期に頑張りたいことは、二つあります。一つ目は勉強です。これまでは、授業で習った内容の復習を自主的に取り組んでいませんでした。そのため、定期テストが近づいてきたときには忘れてしまっていて、テスト勉強のときには、また基礎から勉強し直す必要がありました。この反省を生かし、三学期は授業の復習をしっかりとやり、定期テストには余裕をもって準備できるように、心掛けていきたいです。毎日の自主学習では、復習を中心にノート二ページ以上を目標として頑張っていきたいと思います。

二つ目は部活動です。私は女子テニス部に入っています。練習や試合では、安定したストロークで打てなかったり、ねらった場所に正確にコントロールできなかったり、課題はたくさんあります。限られた時間の中で上達するために、常に意識して頑張っていきたいと思います。また、家でも素振りをして基本動作を確認しながら、上達できるように頑張りたいです。

三学期は、一年の復習をし、苦手な単元がない状態で一年生を終えられるようにしたいです。充実した三学期にできるようにしたいと思っています。

1年2組 樋口 絢音 (あやね)

新年が始まり、三年生に向けて、様々な準備をしなければならない時期になってきました。私が準備したいことは二つあります。まず、学習面です。中学校生活で、一番重要な受験のことを考え、工夫して勉強し、努力をしなければなりません。なので、新研究などの教材を使ってしっかり復習したり、授業を真面目に受けたりして、予習や復習の時間を大切にしていきたいと思っています。

次に、生活面です。最高学年になったとき、後輩のお手本になれるように日頃の生活態度や先生方への言葉遣いを見直し、自分で瞬時に、今は何をしたいのか判断し、自立した行動をしたいです。

これらの準備に向け、冬休みにしっかり取り組んでいたのか振り返ってみました。振り返ってみると、勉強や部活動で目標を立てて取り組んだことで、充実した冬休みになったと思います。特に、学習面では、「毎日少しは勉強する。」という目標を立てて取り組み、一日二時間以上勉強をすることができました。また、部活動では、「基礎練習をしっかりとやる。」という目標を立てて取り組み、一本打ちなどをしっかりとすることができ、とても充実していたと思います。

三学期にがんばりたいことは、真面目に授業を受けることです。それだけでなく、新研究などの教材を使って、予習や復習の時間を大切に使うことです。また、今回修学旅行の実行委員になったので、みんなの意見などをまとめて、みんなにとって最高の思い出になるような修学旅行にしたいと思っています。

最後に、遊び中心の生活ではなく、文武両道を目指した学校生活をしたいです。勉強でも部活動でも課題はたくさんありますが、一つ一つ丁寧に成し遂げていこうと思います。

2年2組 高橋 悠 (ゆう)

私が三学期にがんばりたいことは三つあります。一つ目は勉強です。一月から三月の間に私立高校、公立高校の試験があります。私は私立高校を二校、公立高校を一枚受験します。第一志望の公立高校に入学できるように発展問題や記述問題対策をしっかりとやっていきたいです。

二つ目は学校生活を楽しむことです。義務教育九年間のうち、残り三ヶ月となったので、一つ一つの授業に熱を入れて中学校生活を楽しく終えたいです。

三つ目は休まず学校に行くことです。1・2年生のころは体調不良で休みがちでした。受験当日に体調をくずしたら大変なので、三年生の二学期から休まないように体調管理を行ってきました。その結果、二学期は一日も休まず登校できました。三学期も徹底した体調管理を続けて、休まずに学校に登校したいです。

そして、高校へ入学するためにこれから心掛けていきたいことが二つあります。一つ目は、悪口を言わないことです。私は感情的な人間で、ついいらだってしまうと口が悪くなってしまいます。高校は、社会人へ成長する過程の最終段階ともいえるところです。軽々しく悪口を言わず、言葉の重みを理解できる人になりたいです。

二つ目は身だしなみです。私は学校へ登校する前に髪をくしでとかしたり、ねぐせをなおしたりしています。しかし、普段の生活から身だしなみを整えなければ、心が乱れてしまうと思っています。休日でも体のケアを欠かさず行うことで、身も心も整うようにしたいです。これらの点をふまえて、残り三ヶ月をより勉学に費やし、第一志望の高校に入学したいです。

3年2組 片山 歩美 (あゆみ)

今後の予定

1月18日(水) 3年生午前3限授業
(給食なし)

23日(月) 3年生進学三者面談
~26日(木)まで

25日(水) 3年生午前4限授業
(給食あり)

2月 1日(水) テスト強調週間・プラリガタイム
~8日(水)まで

8日(水) 定期テスト④1日目
新入生保護者説明会

9日(木) 定期テスト④2日目

14日(火) 1年生スキー授業

16日(木) 2学年PTA 学年懇談会

17日(金) 生徒総会
1学年PTA 学年懇談会

2月21日(火) PTA 第2回運営委員会

3月 2日(木) 3年生午前4限授業
(給食あり)

3日(金) 第48回卒業証書授与式

5日(日) 2年生修学旅行
~7日(火)まで

7日(火) 公立一般学力検査

8日(水) 公立一般学校独自検査
2年生修学旅行代休日

16日(木) 公立合格発表

23日(木) 3学期終業式

公立二次試験

24日(金) 離任式

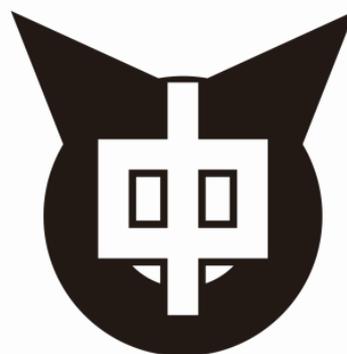
公立二次合格発表

豊中の校章の由来を知っていますか

みなさんは、豊浦中学校の校章の由来について聞いたことがありますか。知らない人もいると思いますので、改めて紹介します。

校章の、2つの耳のように見えるところは、昭和50年（西暦 1975）に統合した本田中学校と中浦中学校の2つの学区が一つにまとまり、仲よく天に向かって成長することを期待してデザインされたものです。その中には「とようら」の4文字が隠されているそうです。

なお、豊浦中学校は、令和6年（西暦 2024）の4月1日に50歳になります。



「新潟県いじめ等の対策に関する条例」について確認します

新潟県は、令和2年12月25日に、新しく「いじめに関するきまり」を制定しました。「新潟県いじめ等の対策に関する条例」といいます。記憶が薄れている人もいると思いますのであらためて確認したいと思います。（語尾等を、平易な言葉で言い換えてあります）

- 第2条 いじめとは、心身の苦痛を感じているものをいう。
- 第4条 生徒は、いじめや、いじめ類似行為を行ってはならない。
- 第9条 生徒は、いじめを見たり、これはいじめではないかと思ったときは、先生や保護者など、身近な大人に相談する。

第2条・・・「いじめ」とは、相手に「いじめている」という意識がなくても、された人が嫌な気持ちになれば、それは「いじめ」になります。

第4条・・・新たに「いじめ類似行為」をしてはならないと定められました。

「いじめ類似行為」とは・・・

SNSで悪口を書き込まれたことを、まだ本人が知らなくても、それを本人が後で知った時に、嫌な思いをする可能性が高い場合 等です。

「いじめ」は、仲間の人権をうばう、絶対にしてはならない行為です。何が「いじめ」に該当するか。「いじめ」を見つけたらどうしたらいいかなど、「いじめ」についての正しい認識をもち、みんなの手で豊中を、「いじめをしない見逃さない学校」「安心して生活できる学校」にしていきましょう。